

AIの役割は人間のアシスタント「時短」と人に代わる「代行」に分かれる

比較項目	従来のAI（例：ChatGPT）	リアルタイム自律判断AI
AIの役割	便利な道具	人に依存してきた業務の代行者
人との関係	人が判断→AIは作業・特定タスク支援	人が判断の考え方を設定→AIが総合的に判断して業務を自動化
処理の透明性	ブラックボックス なぜその答えなのかは確率論 ハルシネーションのリスクがある	ホワイトボックス なぜその答えかをテーブルで証明可能論理的に100%の正解を導く
導入の効果	業務精度／効率の向上 作業の時間は減るが、判断を伴う業務の自動化はできない	技術、規定、運用、ノウハウ…他の蓄積と活用による業務の自動化 ベテランの判断ノウハウを資産化でき、その高い成果レベルを誰もが利用できる
具体例	質問応答、文書作成、画像処理、比較、翻訳 などの作業や特定タスクの支援	人が持つ「複数の判断材料を総合的に考慮して最善の判断を行う能力」を情報処理化する仕組みにより、人の判断に依存してきた業務の自動化を可能にする

作業や特定タスク支援

業務の自動化



将来イメージ